된 D 전	別知工労みこよ			+D VI #P =			# — »¥	
科目名	制御工学セミナー	出出	活年	担当教員 履修条件		山真吾, 清水 共, 翱 → 単 ☆ *** → 2	惟元符一	
学年	電子制御4年	学期	通年 港第 港羽		必修	単位数 2		
分野	専門		講義・演習		07004_30850	アナンナードナ	の極米な	
<b>公33 口 抽</b>	半導体工学,数学,情報工学に関する英語または日本語の文献をもとにセミナー形式の授業を 行うことにより,専門書,技術英語の読解力および発表,質疑,討論の能力の習得を図る。担当							
学習目標	11 / ことにより、等円音、投州英語の説牌刀ねよい光表、貞疑、討論の能力の自得を図る。担当  者は担当箇所について調査、口頭発表を行う。これらを通して、英語または日本語の文献に関す							
	看は担当箇所について調査、口頭免衣を行う。これらを通して、央語または日本語の文脈に関   る読解力および発表、質疑、討論の能力の習得を図る。							
	るが肝力やよび光衣, 貝架, 引哺の形力の自行を囚る。							
	10 夕程度で構成す	- スイへの/	ゲループに分え	かわ 指道数	宮のテーマに広	ドア 基末的に	タガルー	
進め方	10 名程度で構成する4つのグループに分かれ、指導教官のテーマに応じて、基本的に各グルプ毎に1年間(60時間)を通じて一つのテーマに取り組む。各教官の下で英語または日本語の							
(E 0) / J								
	献をもとにセミナー形式の授業を行う。各自,担当箇所について調査,口頭発表を行い, 容について質疑,討論を行う。必要があればレポート提出や小テストを行う。						, C 07 P 1	
 履修要件	付に グート 貝無, 町	11冊で11 ノ。	必安/ × ∅/ (ℓ)		ш ( Л. ) Д Г. б.	11 7 °		
及沙女厅	<b>学</b> 習证	目(時間	<u>\$</u> π )			達目標		
	4つのグループに分かれ、それぞれのテー			-マ1 英語す				
	を学習する。				D5:2, D2:1			
	【平成18年度の例】			· ·	2.テキストの内容について整理できる。 D5:1			
	1. 制御工学の基礎知識 (60)				トの内容につい			
	・古典的な制御理論の基礎に関する英語							
	献の輪読			D5:1	<b>加里</b> 0 た 個 次 6		<i>D</i> 2.1,	
	ווער > דוש נוער				5.分かりやすい発表ができる。B2:2, D2:3			
	2. 工学に必要な数学(60)				討論ができる。			
	・英語文献の読み方の一般的な注意			0.52,40	H 7 HIII 77 C G G	21.5, 22.1		
	・線形代数に関する英語文献の輪読							
	・多変数解析に関する英語文献の輪読							
			,,,,,,					
	3. 半導体産業の実	寒状と技術に	制御(60)					
	・英語文献の読み方についての一般的注			主意				
	・半導体産業の実状に関する日本語及び			び英				
	語文献の輪読							
	・最先端技術に関する日本語及び英語文			文献				
	の輪読							
	4. 情報学の基礎知識(60)							
	・英語文献の読み方についての一般的注			<b>主音</b>				
	・確率統計学に関する日本語・英語文献							
	輪読	- 124 / 22 11 ·	7 40 204020					
	• 電子情報工学	に関する	英語文献の輪割	売				
評価方法	プレゼンテーション、レポートで総合的に評価する。							
関連科目								
教材	教科書:木下是雄 著「理科系の作文技術」中央公論社、配布プリント							
備考								